

# 高齢者向け支援サービス展開

## つむぎシニアライフサポート 入居中や死後のサポート

司法書士法人つむぎ(大阪市)およびグループ会社のつむぎシニアライフサポート(同)は、高齢者入居支援サービス「つむぎサポ」を9月より展開している。物件の入居者の高齢化における介護支援や、死亡時の退去処理を支援するサービスだ。



つむぎシニアライフサポート(大阪市) 西谷尚志代表(45)

同サービスでは、大きく分けて二つの分野のサポートがある。一つ目は入居中の高齢者のサポートだ。一人暮らしの高齢者に介護が必要となった場合は、つむぎシニアライフサポートが行政や福祉関係者と連携し、介護を受けることができるようにサポートする。ごみ屋敷、隣人への迷惑行為など典型的な認知症の初期症状が見られた際は、司法書士法人つむぎが入居者の成年後見制度などを使用し対応する。症状が悪化した場合は、介護施設への転居の支援なども行う。

二つ目は入居者の死亡時のサポートだ。事前に入居者と死後事務委任契約を締結しているため、

万が一死亡した際は、解約から部屋の片付けまで早急に対応でき、次の入居募集までスムーズに行うことが可能となる。

同サービスは入居者の負担で、導入料金は1万6500円、月額5500円(いずれも税込)となる。オプションで見守りサービスを付ける場合、同社が緊急連絡先として対応することも可能だ。同社は司法書士法人として高齢者からの相談を受け付けており、相談者から引越しをする際に高齢者という理由だけで部屋が見つからないという相談を受けて同サービスを開発した。つむぎシニアライフサポートの西谷尚志代表は、「2020年から45年までに日本の60歳以下は6000万人減るといわれている。高齢者は増え続け、従来の若者向けの賃貸経営では成り立たなくなると。司法書士として高齢者の入居をサポートしたい。管理会社やオーナー、行政、地域の司法書士法人と協力しながら年間で1000件の契約を目指す」と語る。